



新発田市立七葉中学校学校だより<題名は教育目標より>

磨け自己 高めよ理想

【目指す生徒の姿】 自他の良さに気付き、主体的に取り組む生徒

新発田市立七葉中学校
新発田市上館乙 84-2
電話 0254-22-3524
令和6年7月25日号

TSUNEIさんと西光万吉さんの言葉に通じるもの 1学期終業式校長講話より

1学期の終業式を迎えました。4月8日の始業式・入学式から今日まで学校へ登校する日は75日ありました。1学期の出来事で心に残っていることはどんなことがあるでしょうか。私は6月に行った「絆づくり集会」でTSUNEIさんが言った「相手の良いところを5個見つけると『いじめ』をなくせよう」という言葉が心に残っています。なぜかというと同じ頃に西光万吉さんに関する本を読んでいて、西光さんの考え方と合わせて考えたらとても納得がいったからです。西光万吉さんを憶えていますか。全国水平社の設立と水平社宣言の起草に深くかかわった人物です。西光さんの考え方を紹介します。

西光さんは「差別を克服するためには、同情ではなく尊敬が必要だ」と言っています。「同情」の意味を三省堂の国語辞典で調べると「つらいめや苦しいめにあっている人の気持ちになって、かわいそうだと思うこと」と書いてあります。西光さんは「同情する」ことは、相手を自分と平等に見ていないととらえているのです。だから「尊敬することが必要だ」と言っています。同じ辞書で「尊敬」の意味を調べると「相手の人をえらいと思ひ、うやまうこと」と書いてあります。相手を尊敬すれば、差別はしません。だから「差別を克服できる」という西光さんの考えに私は賛成です。では相手を尊敬するためにどうするか、ここで「相手の良いところを5個見つける」というTSUNEIさんの言葉に私の考えはつながるのです。相手の良いところに気付けば、相手を差別したり、いじめたりすることはないと思うのです。

人が差別したり、いじめたりするのは「自分は優れていると他の人にアピールするため」という考え方もあります。相手を攻撃して自分より劣っているように見せることで、自分の方が優れていると周りに思わせたい人がやるそうです。このことは、「自分に自信をもてない人」が不安を解消するために「誰かを攻撃して自分の優越感を感じて安心する」ということでもあると思います。私はそのような人に魅力を感じません。皆さんはどうですか。

では「自分に自信を持ってない人」が自信をもつために何をやったらよいのでしょうか。周りの人に「私の良いところを5個教えて」と聞いてみたらどうでしょう。自分では「当たり前」と思っていることでも、周りの人から見たら「あなたの良いところ」と感じていることが案外多いものです。

では最後に、私たちはなぜ他の人の良いところを見つけることができるのでしょうか。私は「みんな自分と違う人だから」だと思います。みんな自分と違う人だから、自分が期待していた言葉が返ってこなかったり、行動してくれなかったりして、イライラしたり、悲しくなったりするときもあります。でもそれは、みんな自分と違う人だから当然だと思うのです。その代わりに、自分にはない良さをもって、自分が気付かなかった自分の良さを見つけてくれるのだと思います。

明日から夏休みです。あなたの命も、自分以外の人の命も、何にも代えることができない大切なものです。交通事故、水難事故に十分注意して「自分の命」と「相手の命」を大切にしてください。2学期始業式に皆さんが元気に登校してくることを楽しみに待っています。



西光万吉さんが、「差別を克服するためには、同情ではなく尊敬が必要だ」と言ったのは、今から約100年前だということを紹介しておきます。

